

科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	総合英語					学期	曜日	校時
英語名	Comprehensive English							
担当教官名	築取和紘	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期	月曜日	3校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>「総合英語」は英語の4技能を総合的に伸ばすことを狙いとしています。この授業では英文法と語法を基本に、学生にとって身近な話題や社会問題・国際問題に関連したトピックを「読む・書く・聴く」へと発展させます。具体的には、まず語彙・語法・文法を確かめ、次にパラグラフの内容を理解し、3番目に英語を聞いて書き取ります。さらに時制と語法に基づいて英文を作り、ホットな話題のリスニングと理解力を試す問題を解いていきます。英語の規則を暗記するのではなく、多くの練習問題を解くことによって身に付けることを目指しています。十分な予習をしたうえで授業に臨めば、バランスのとれた英語力を身につけることができると思います。</p>								
テキスト、教材等								
Edith Newman, 西本徹 <i>Topics and Tenses—Making Sense of Grammar and Usage</i> 『トピックで学ぶ英語の基本ルールと応用』(南雲堂、2003年) 1500円								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
Fc	成績は { 学期末試験 : 65% 授業中の発表 : 25% 出席状況 : 10% } で出します。							
授 業 計 画								
1) 授業は学生の予習を前提として行います。すなわち、学生が教科書本文を読んで内容を理解し、練習問題にも自分なりの答えを書き込んでいるものとして授業を進めます。もちろん難しく理解できない箇所があれば質問してかまいませんし、説明を求めることもできます。また練習問題の答え合わせもきちんとやります。 2) 授業で学習したことは学期末に試験をし、100点満点の点数を65点満点に換算します。 3) さらに授業中の学習態度も評価の対象となります。学生が自分の答えや考えを発表した場合は、その回数によって加点しますが、何も発表しない場合は0点です。そして出席状況も成績に反映させ、出席の回数に応じて点数を与えます。 4) 20分までの遅刻は出席と認めますが、それ以上になると欠席扱いとするので注意してください。但し、欠席が5回になると、理由の如何を問わず、学期末試験を受ける資格を失います。 5) 4月最初の授業で教科書を販売し、授業の進め方や評価法について詳しく説明します。受講生は全員必ず出席してください。なお、再履修を希望する学生は1回目の授業でのみ受け付けます。 6) 授業予定 1. (4/12) Unit 1 Student Life 2. (4/19) Unit 2 Student Life 3. (4/26) Unit 3 Our Future 4. (5/10) Unit 4 Review Practice 5. (5/17) Unit 5 Happenings and Experiences 6. (5/24) Unit 6 Marriage and Work 7. (6/07) Unit 7 Surprises 8. (6/14) Unit 8 Review Practice 9. (6/21) Unit 9 Believe It Or Not 10. (6/28) Unit 10 Personal and Social Problems 11. (7/05) Unit 11 Disasters 12. (7/12) Unit 12 Personal and Social Problems 13. (7/26) Unit 13 Review Practice 14. (8/02) 復習・まとめ・小テスト 7) 前期末試験 ：8月9日								